

# 顔つだち

私たちの生活の中で鏡をのぞきこくものない日があるだろうか。ほとんどの人が毎日、鏡で自分の顔を見ていることだろう。

見るたびに「もつと美人だったわ、ハニサムだったらと」深いための息をもらっている人もいるのでは？

それなら顔たちはともかく顔つきを心がけることだ。

顔たちとはもって生まれた顔のようす、目鼻たちをいう。

顔つきとは、見る人にその性格や気持ちを感じさせる顔のようすをいう。

自分の心の状態や相手に対する気持ちが、つくりだすものだ。

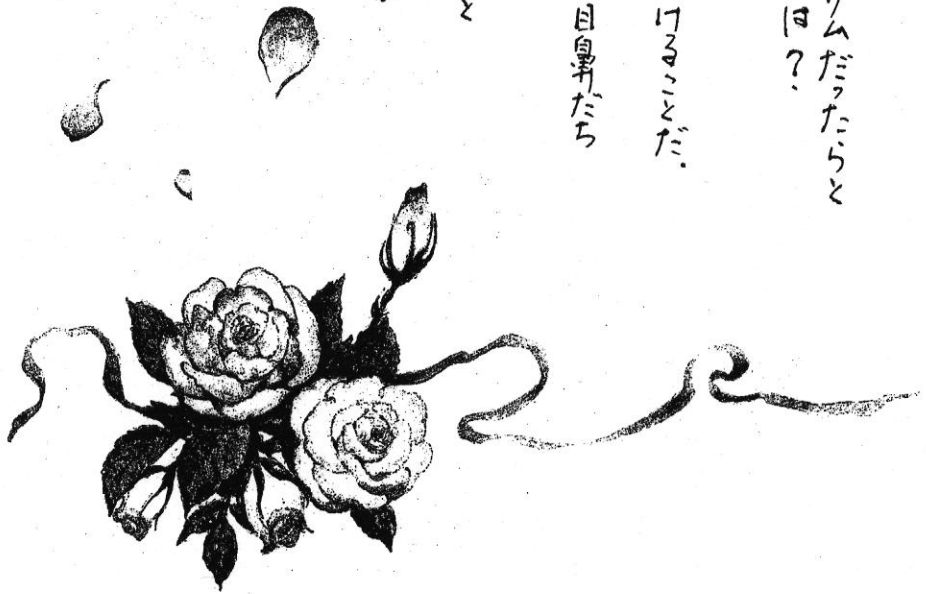
人が目標に向かって突き進んでいる時や、物事に集中して取り組んでいる時、いい顔をするね」とよく言われる。

この「いい顔」とは、その人の真剣さ、ひたむきさ、その時の充実感、満足感が顔つきとなって表われたものだ。

顔たちは変えられなくても顔つきによって顔はつくられていくのだ。自分の内なるものが、つくりあげていくと、いい顔になる。

その君、君は、いよほどのよつな顔をして、いますか。

毎日、寝る前のひととき、鏡をのぞきこみ、自分の顔を見て、「うん、今日一日の自分の姿、心のありさまが、さつと、つっただよっているはずだ。」



福三子  
板倉  
だより

# ほたる草

平成二十八年十二月九日(金)

NO.124

前へ進む  
眼して  
鯛焼三三尾  
並ぶ  
草田男